

图版 3



2号墳主体部内土層堆積状況



2号墳主体部遺物出土状況

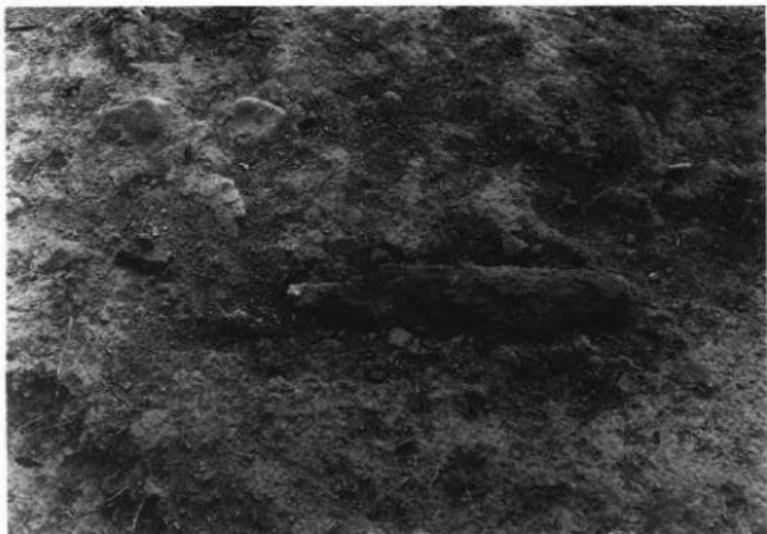


2号墳土師器出土状況

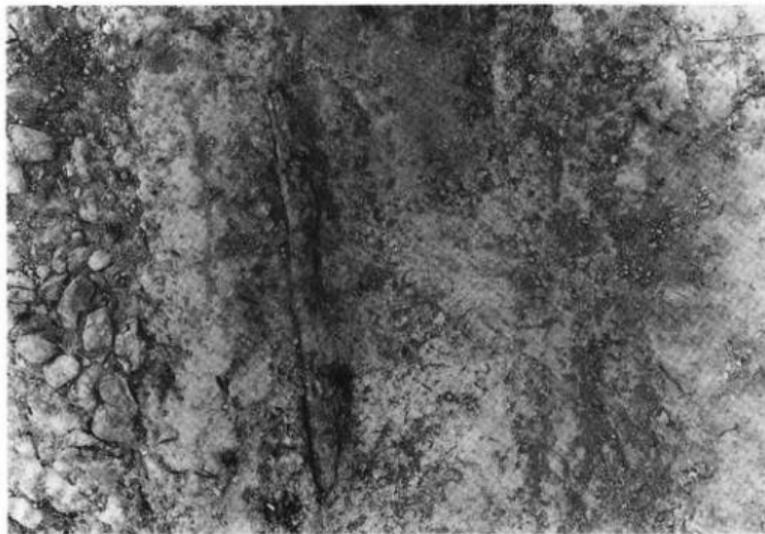


2号墳玉類下部木質遺存状況

图版 5



2号墳外鉄劍出土状況



2号墳内鉄刀出土状況



2号墳四神形鏡・鉄斧出土状況(1)



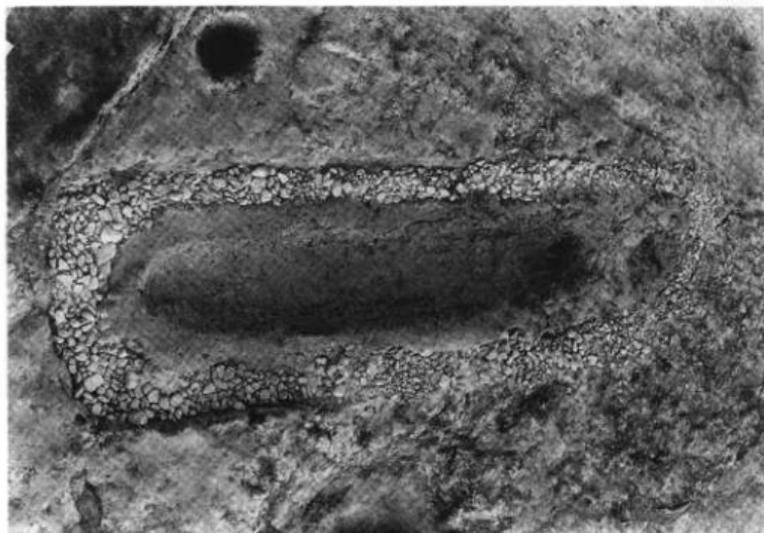
2号墳四神形鏡・鉄斧出土状況(2)



2号填管玉出土状况



2号填勾玉出土状况



2号填粘土棺床检出状况(1)



2号填粘土棺床检出状况(2)



2号墳主体部基底部露検出状況(1)



2号墳主体部基底部露検出状況(2)



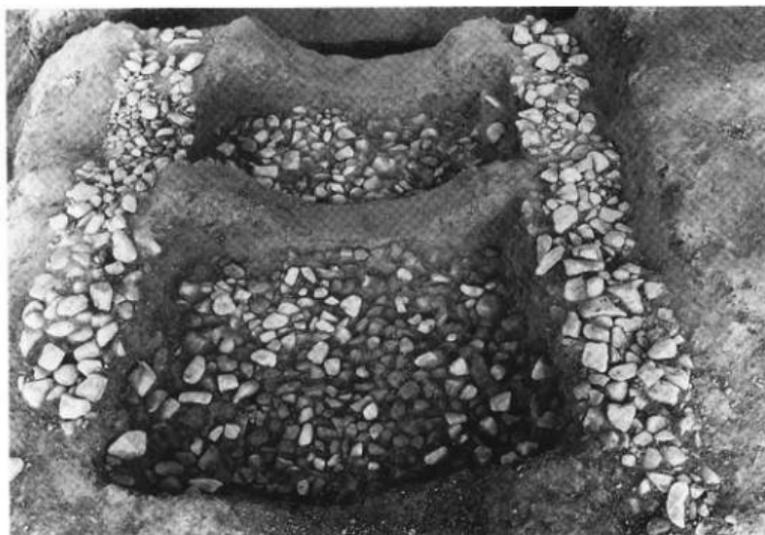
2号墳主体部断ち割り状況(1)



2号墳主体部断ち割り状況(2)



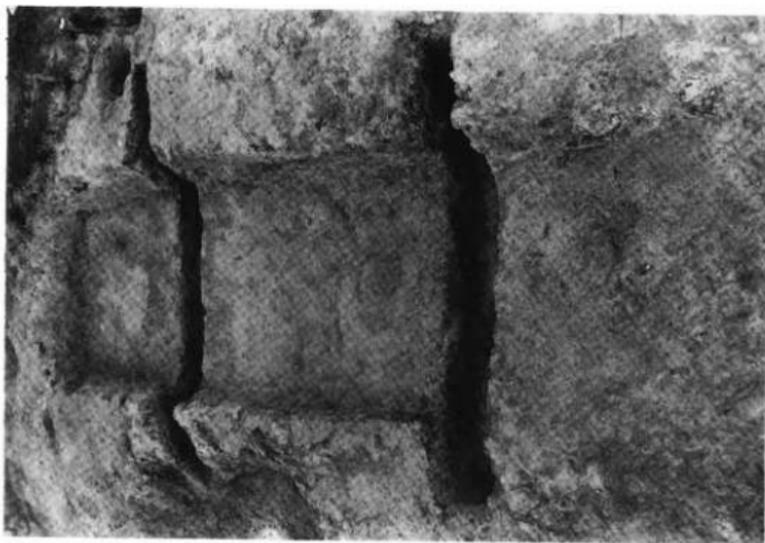
2号墳主体部断ち割り状況(3)



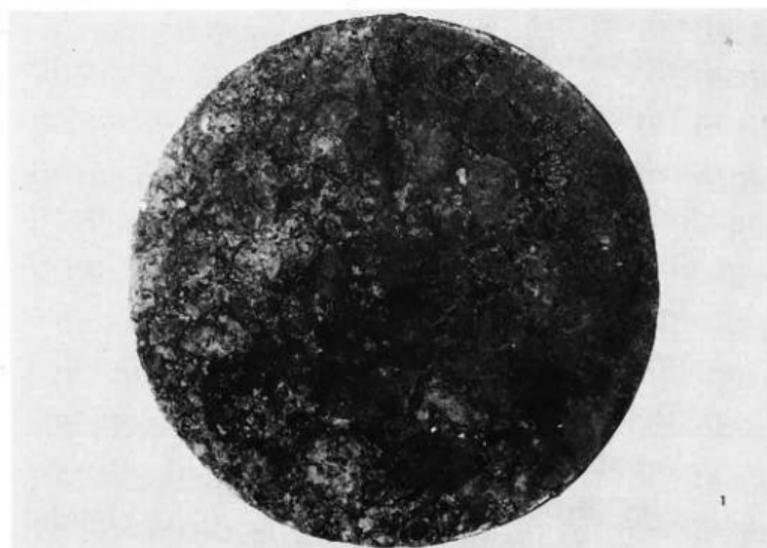
2号墳主体部断ち割り状況(4)



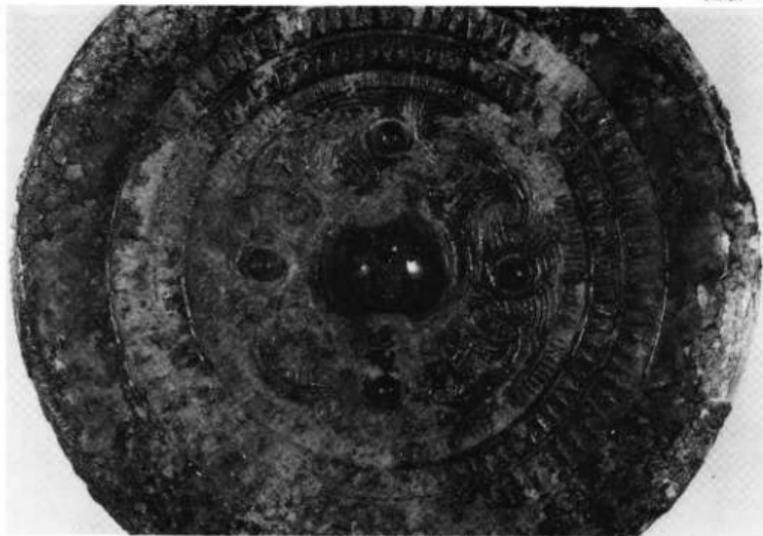
2号墳主体部断ち割り状況(5)



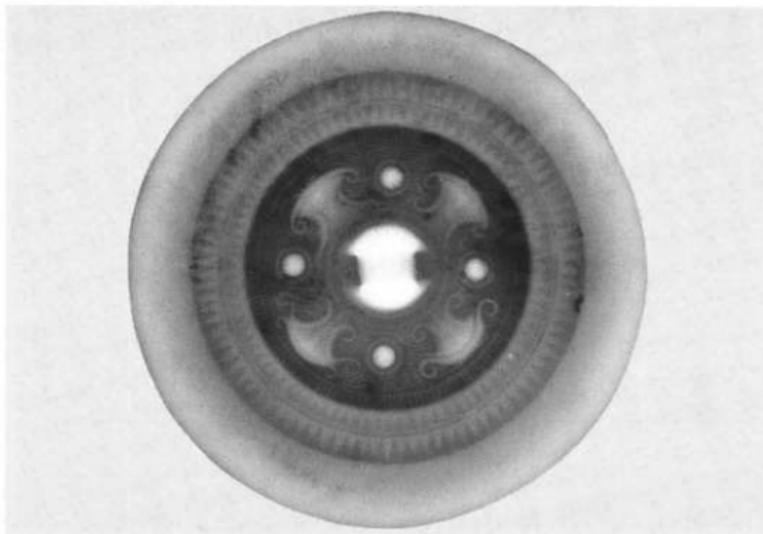
2号墳主体部断ち割り状況(6)



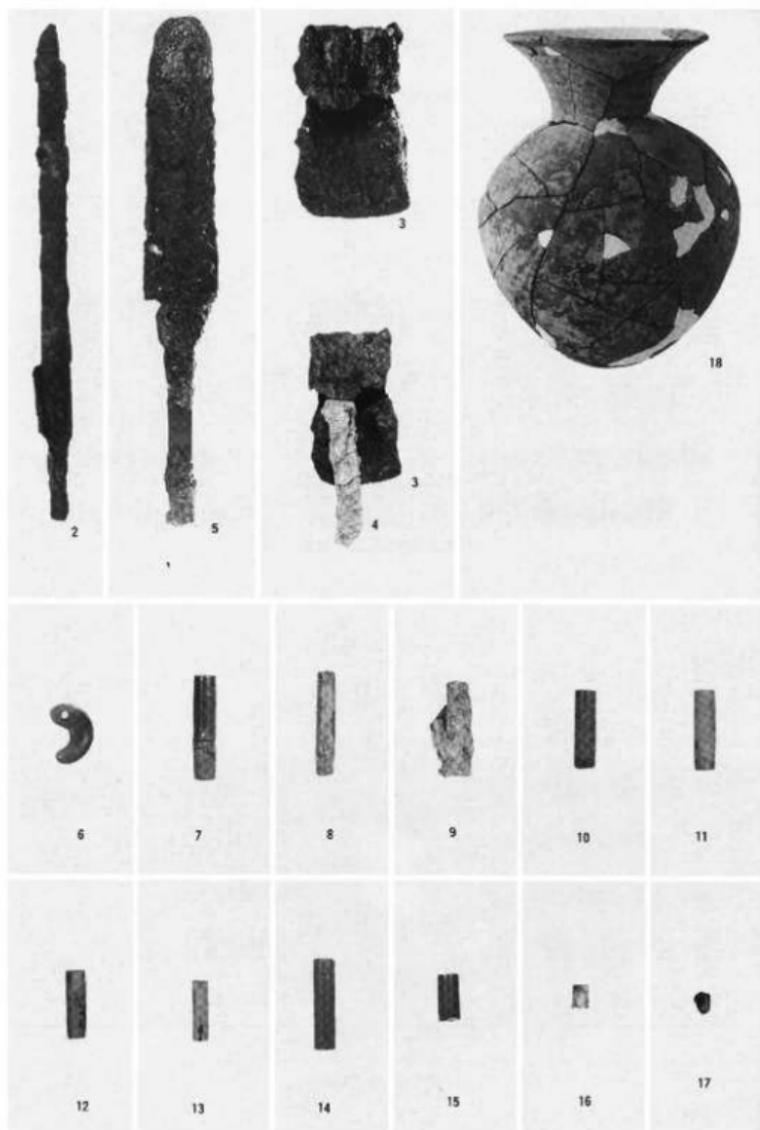
2号墳出土遺物(1)四神形鏡



四神形鏡内区拡大写真



四神形鏡X線写真



2号墳出土遺物(2)



3号墳主体部検出状況(1)



3号墳主体部検出状況(2)



3号墳石室上部土层堆积状况



3号墳周溝土层堆积状况



3号墳遺物出土状況(1)



3号墳遺物出土状況(2)



3号墳遺物出土状況(3)



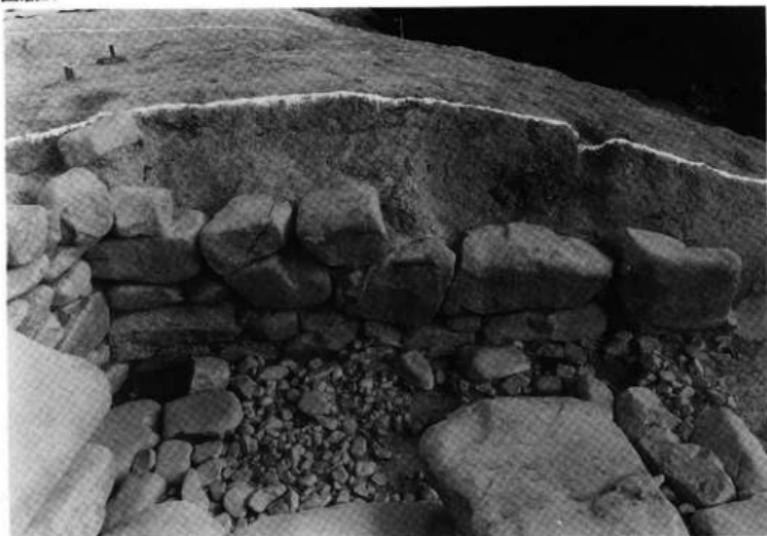
3号墳第1次床面検出状況



3号墳玄室



3号墳右侧壁



3号墳左侧壁



3号墳奥壁



3号墳奥壁右隅



3号墳奥壁左隅



3号墳礎床除去状況(1)



3号墳礎除去状況(2)



3号墳側壁裏込め状況



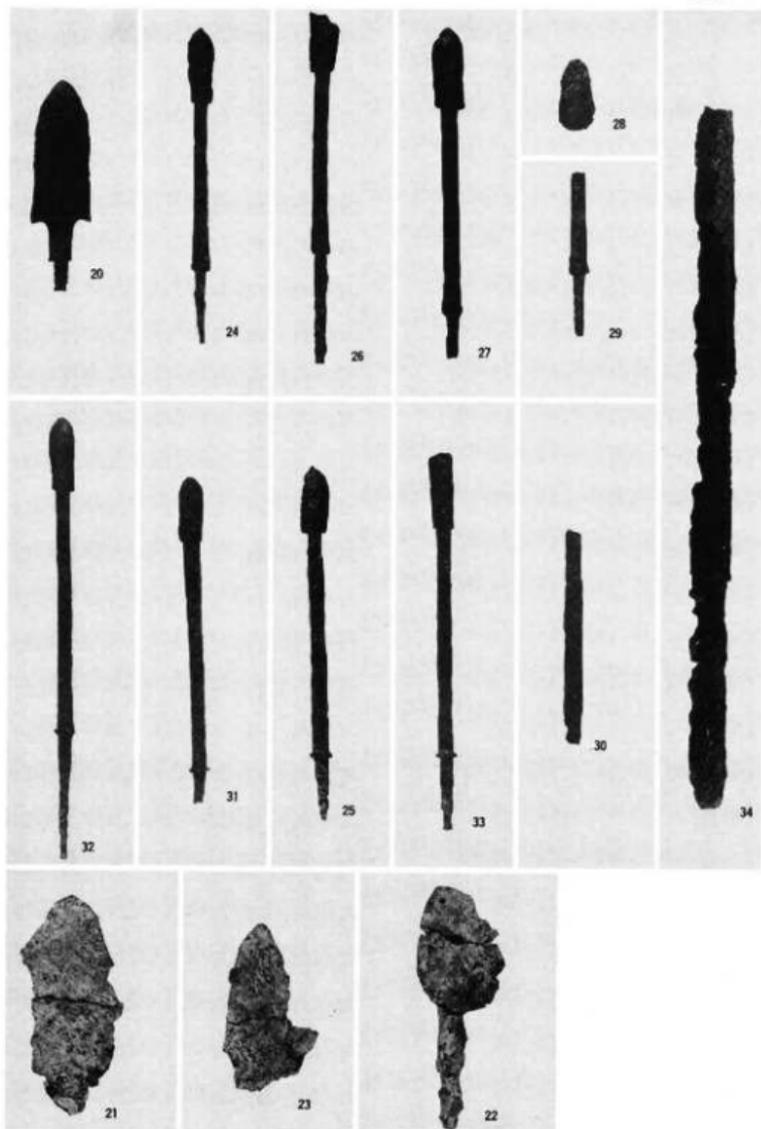
3号墳石室基部敷石検出状況



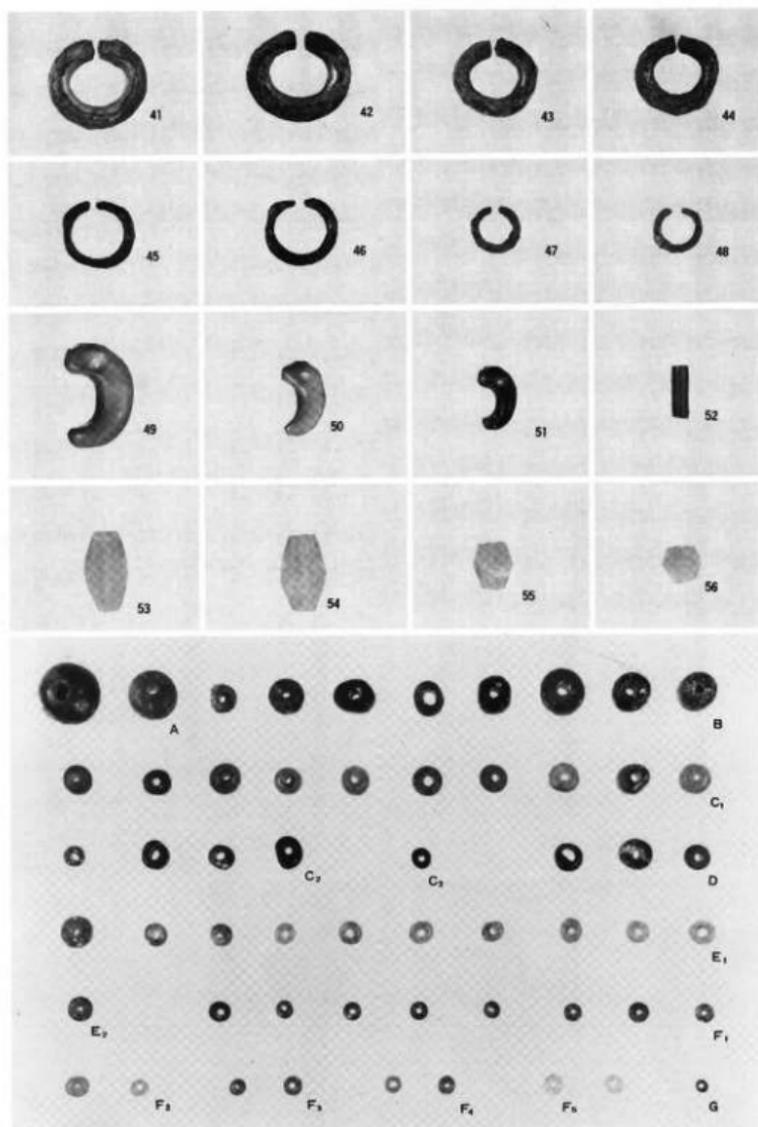
3号墳全景



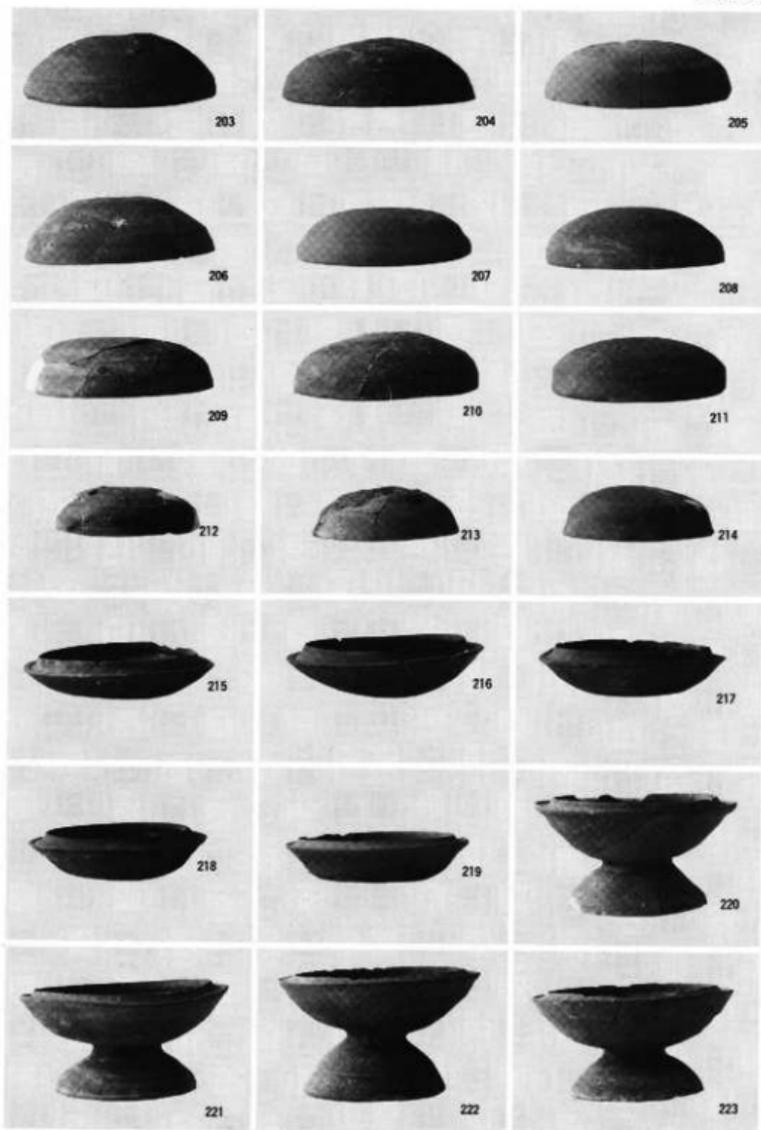
3号墳断ち割り状況



3号墳出土遺物(1)鉄器



3号墳出土遺物(2)装身具



3号填出土遺物(3)須惠器



3号墳出土遺物(4)須恵器・土師器



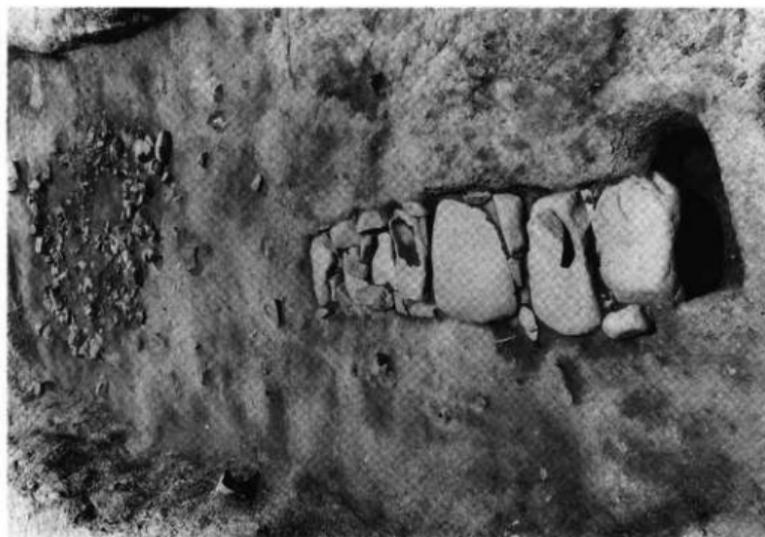
4号墳主体部検出状況



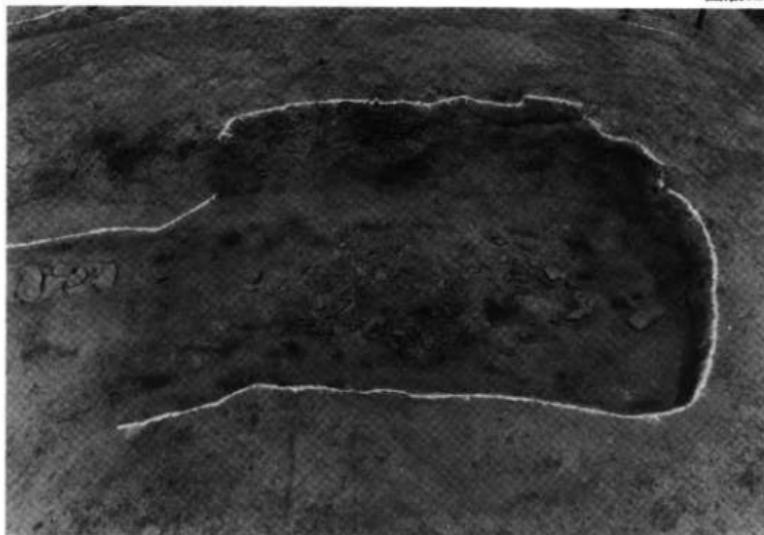
4号墳排水溝遺物出土状況(1)



4号填排水沟遗物出土状况(2)



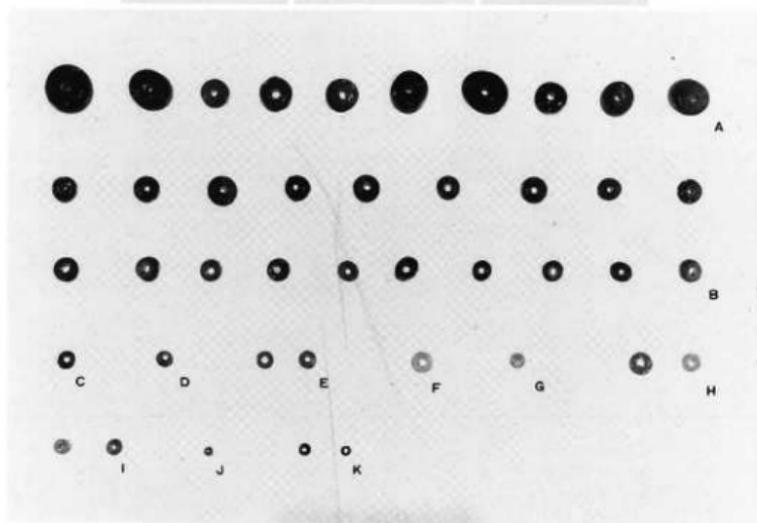
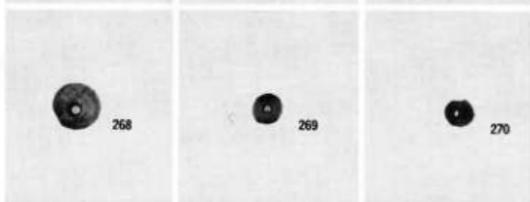
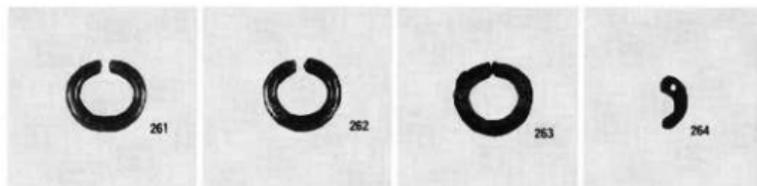
4号填排水沟检出状况



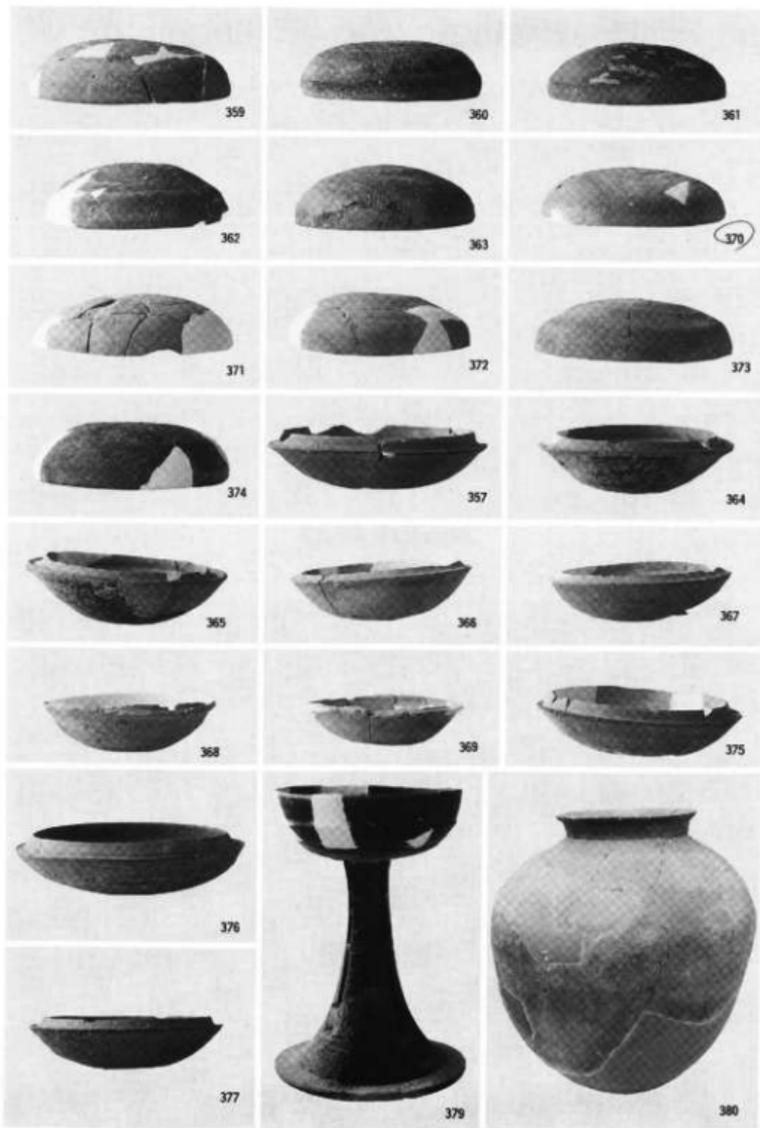
4号墳主体部検出状況



4号墳全景



4号填出土遺物(1)裝身具



4号墳出土遺物(2)須惠器



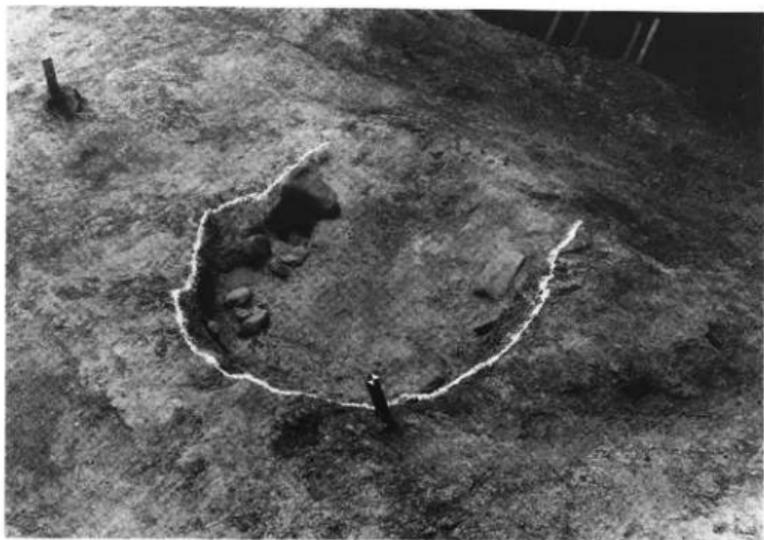
5号墳主体部検出状況



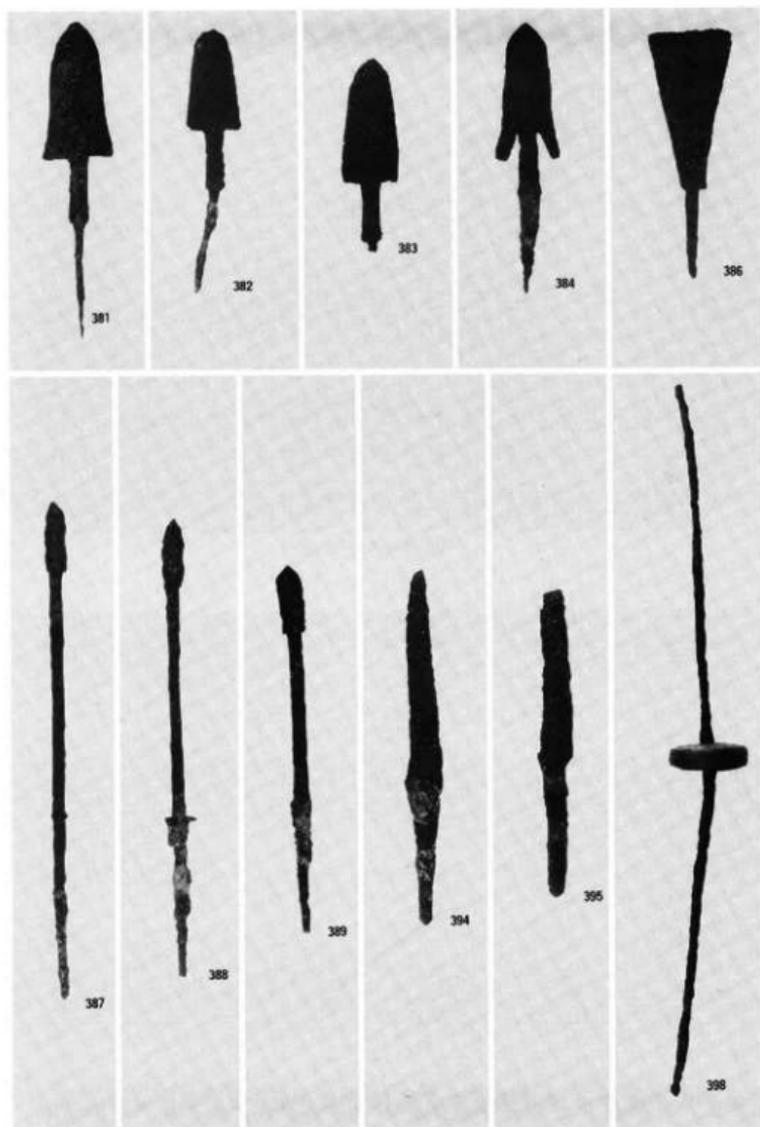
5号墳遺物出土状況(1)



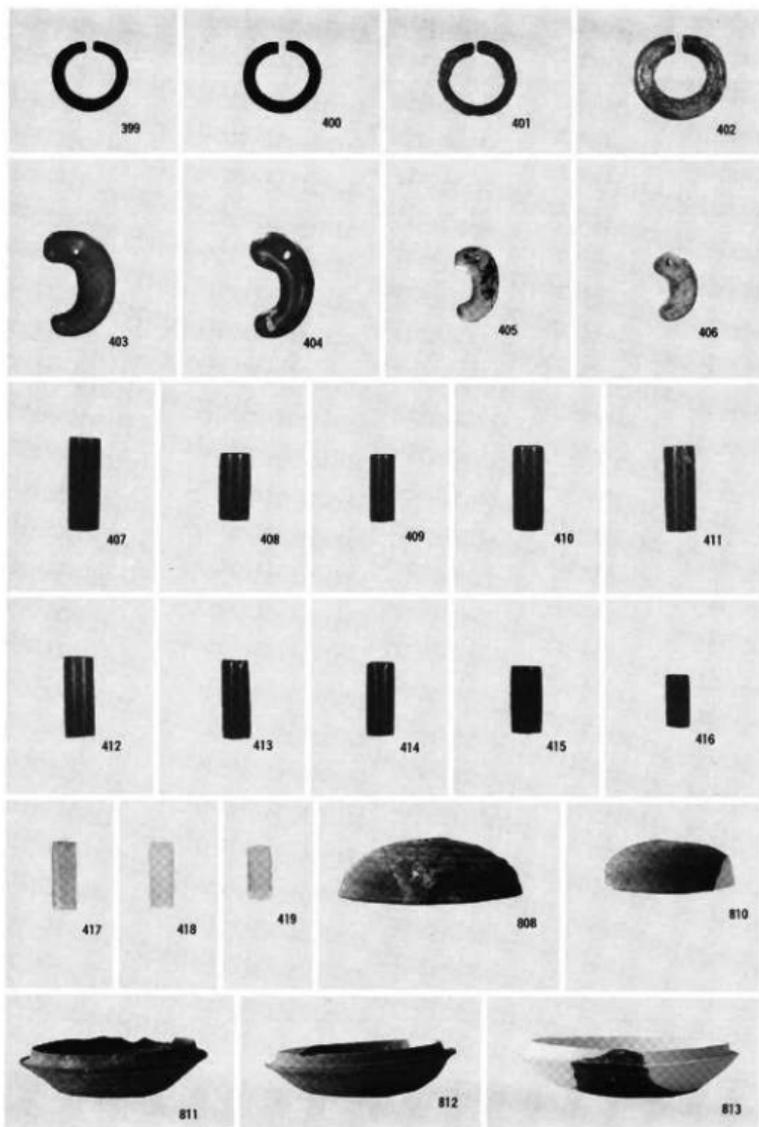
5号墳遺物出土状況(2)



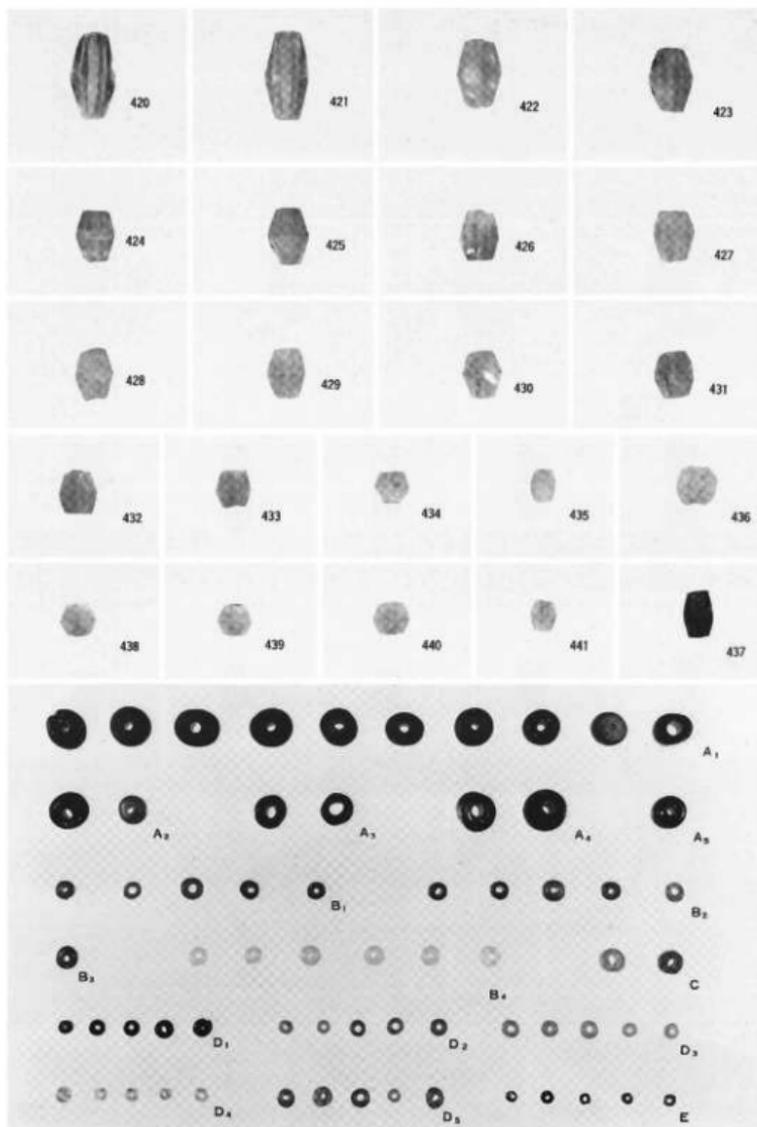
5号墳主体部完掘状況



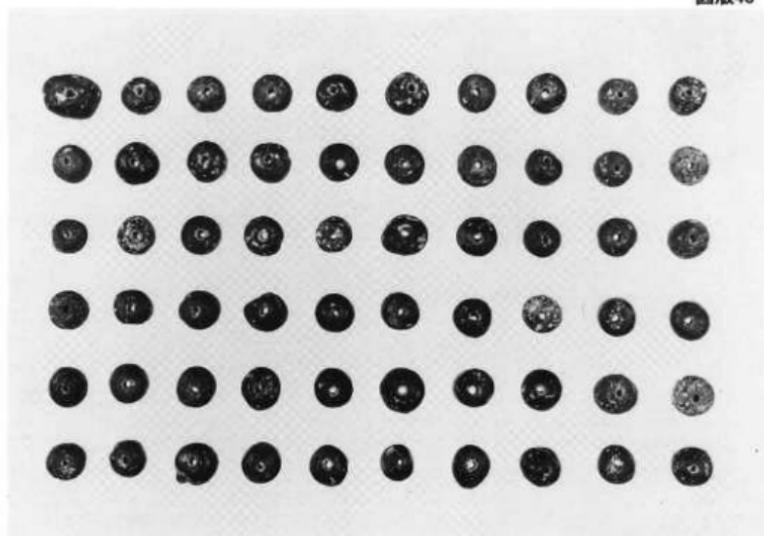
5号出土遺物(1)鉄器



5号墳出土遺物(2)装身具・須恵器



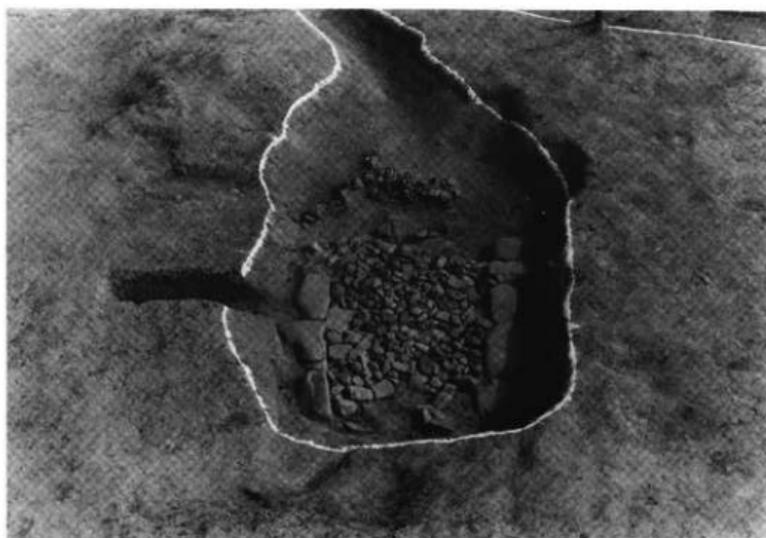
5号墳出土遺物(3)装身具



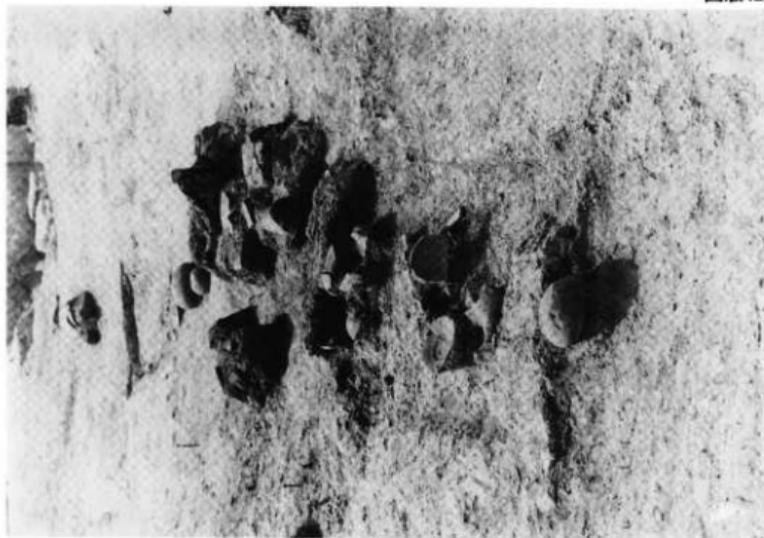
5号墳出土遺物(4)練玉



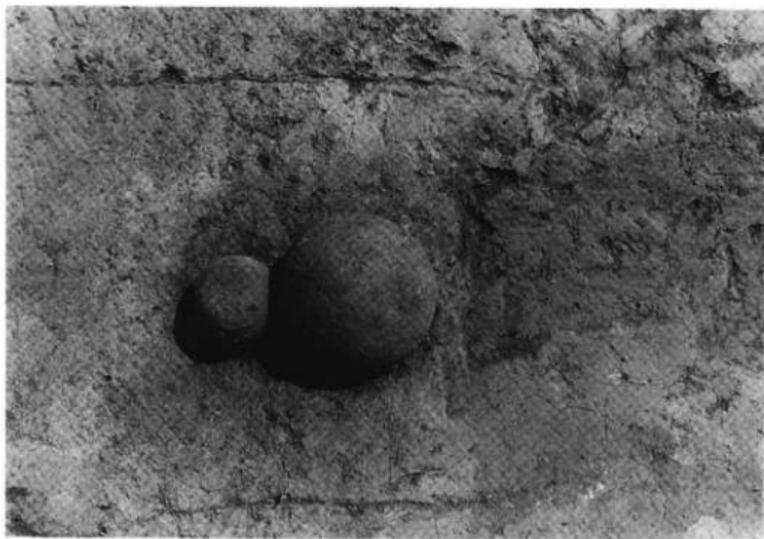
6号墳主体部検出状況(1)



6号墳主体部検出状況(2)

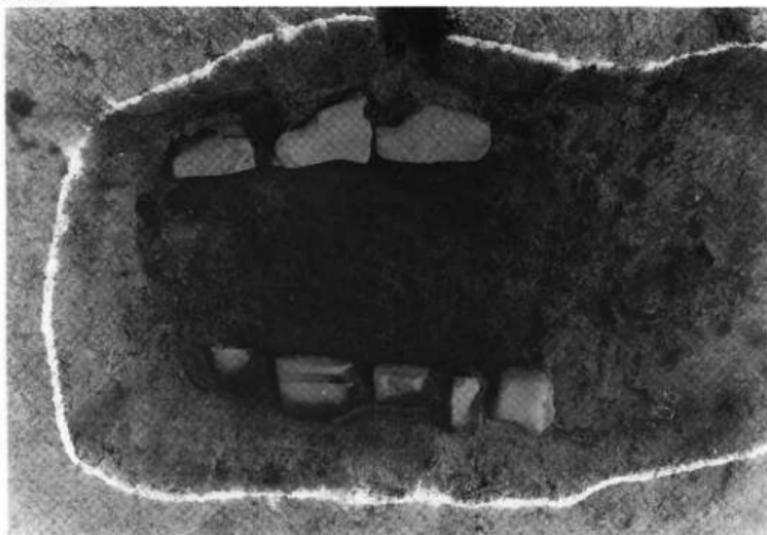


6号填排水溝遺物出土狀況(1)



6号填排水溝遺物出土狀況(2)

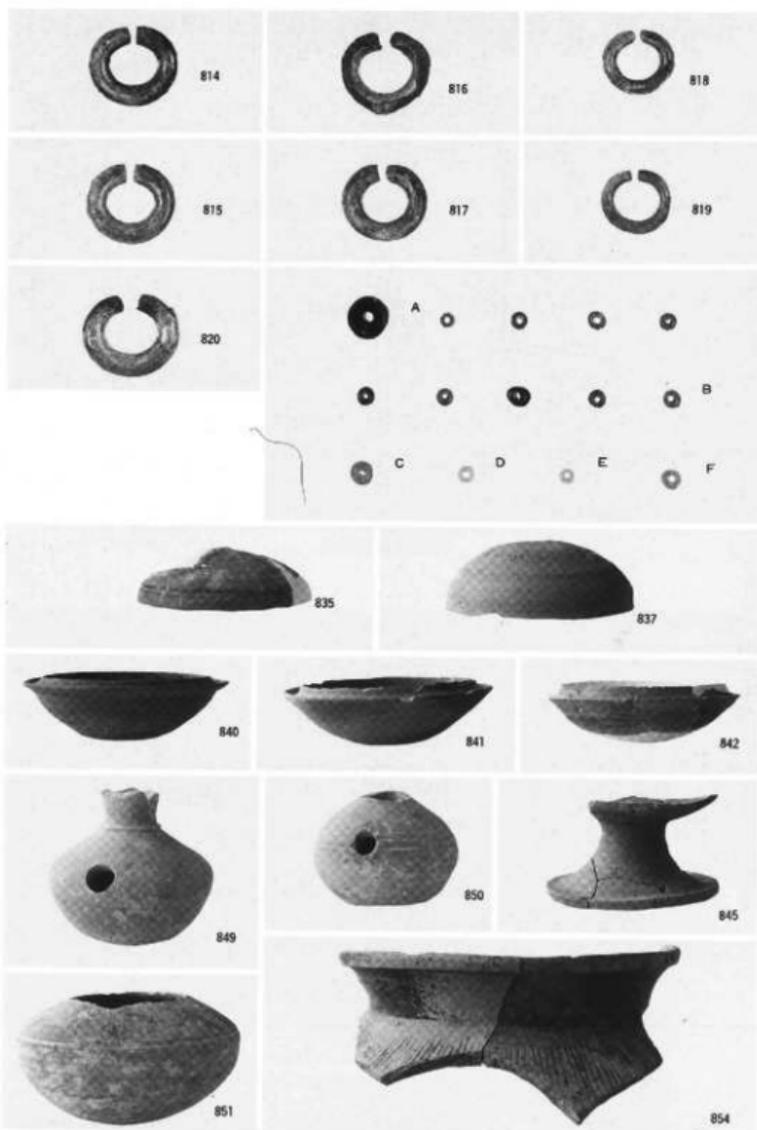
図版43



6号墳石室礫床除去状況



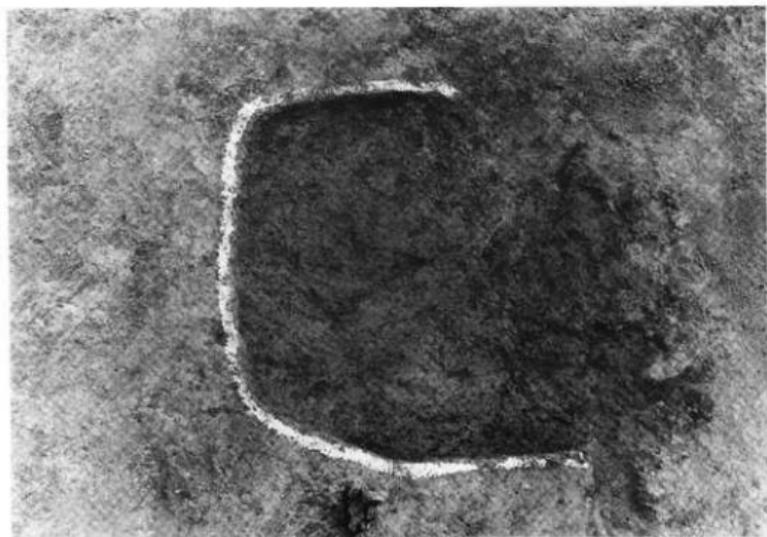
6号墳全景



6号墳出土遺物



石室墓檢出狀況



石室墓完掘狀況



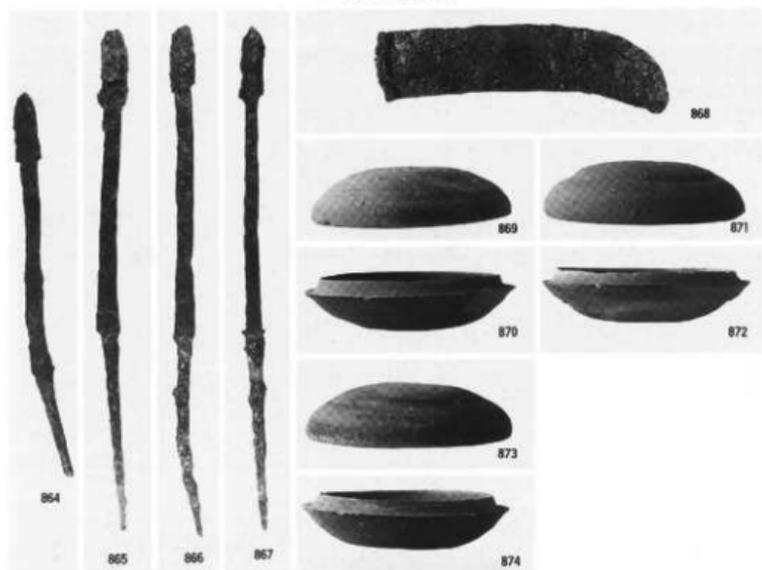
土墳墓遺物出土状況(1)



土墳墓遺物出土状況(2)



土墳墓完掘状況



土墳墓出土遺物

IV 蓮華池遺跡 (I)

- 1 本章は、四国縦貫自動車道建設に伴う、蓮華池遺跡（I）の発掘調査報告である。
- 2 発掘調査及び報告書作成の実地期間は次の通りである。
 発掘調査期間 試掘調査 平成2年6月4日～平成2年6月8日
 本調査 平成2年6月11日～平成2年7月5日
 報告書作成期間 平成4年4月1日～平成5年3月31日
- 3 遺構表示は、徳島県埋蔵文財センターが定める発掘調査統一基準による略号を用いた。
 凡 例
 SK 土坑 SR 自然流路 SX 不明遺構
- 4 本章の挿図番号、遺物番号は通し番号とし、本文・挿図・図版と一致する。

遺跡抄録

遺跡名	蓮華池遺跡（I）
読み	れんげいけ
所在地	板野郡板野町大伏字堀切39-1他 X=126.570～126.604 Y=87.224～87.249
種別	散布地
時代	弥生・古墳・古代・中世
主な遺構	土坑・不明遺構
主な遺物	埴輪・須恵器

1 調査の経過

(1) 調査の経過と調査方法

蓮華池遺跡(Ⅰ)の分布調査による推定範囲は1,250㎡であったが、試掘調査を行った結果、遺構の広がり具合を考慮し、340㎡を対象として本調査を実施することとなった⁽¹⁾(Ⅱ-第2区)。調査期間は、平成2年6月4日から同年7月5日までである。

調査にあたっては、国土座標第Ⅳ座標系を基準とした5×5mのメッシュによりグリッドを設定した。グリッドの配置は、北西隅より南にA～Gのアルファベットを、東に1～6のアラビア数字を配し、その組み合わせによって表現することとした。(第1図)。なお便宜上段構築されている水田区画を調査区とし、Ⅰ区からⅢ区までを設定した上で、一部調査区を縮小、または拡大して遺構の広がりに対応した。

(2) 調査日誌抄

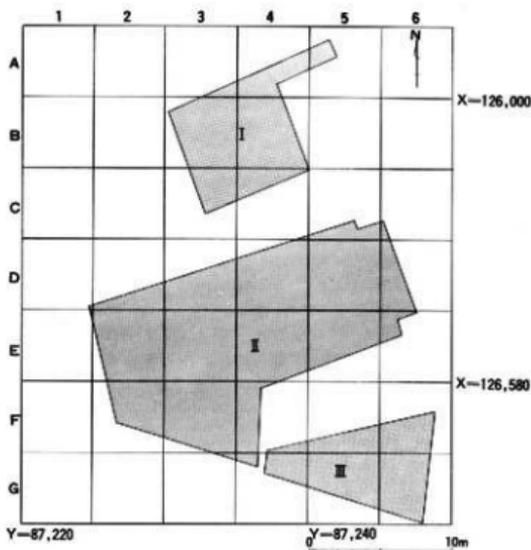
1990年

6月4日 試掘トレンチ設定。

6月5日 試掘トレンチ掘り下げ開始。家形埴
輸出土。

6月6日 Ⅰ・Ⅱ区試掘トレンチ拡張。

6月11日 Ⅲ区機械掘削開始。自然流路検出。



第1図 蓮華池遺跡(Ⅰ)グリッド配置図

- 6月12日 I区、II区遺構面精査。III区自然
流路掘り下げ開始。
- 6月13日 I区南側トレンチ掘削。
- 6月14日 II区南側トレンチ掘削。III区自然
流路完掘。II区南側に遺物（須恵器
甕、円筒埴輪）集中地区検出。
- 6月19日 I区自然流路内掘り下げ。
- 6月20日 I区自然流路完掘。II区自然流路
掘り下げ。
- 6月21日 II区自然流路内完掘。II区遺物集
中地区をSX01とする。
- 6月22日 SX01掘り下げ。
- 6月26日 SX01実測。
- 7月3日 SX01周壁溝検出・完掘。

7月4日 SX01完掘。

7月5日 II・III区確認トレンチ掘削。調査
終了。



写真4 作業風景

2 調査成果

(1) 基本層序

南東方向にのびる2つの尾根に挟まれた谷部に位置する本遺跡では、大きく2つの時期に自然流路がみられる。この流路による堆積や谷の奥より押し出された上砂の堆積に加え、水田構築時の擾乱などによって、上層堆積は大きな影響を受けている。第2図に示したのは、Ⅰ区北端とⅢ区北端の状況である。1層は耕作上、2～9層は粒子の細かい砂質土が堆積したもので、谷の奥からの押し出しによる堆積層と考えられる。遺物は若干土器片がみられる程度と少ない。10・11層は自然流路SR01の埋土、12・13層はSR02の埋土である。各調査区は、本来谷に沿って南側を下る地形上に水田が構築されていた関係で、地均しのためと思われる大きな擾乱を受けている。しかしながら自然流路の周囲は比較的良好に残存しており、特にⅢ区においては、11層は大きく広がり、SR01の埋土であると同時に古代から中世の遺物の包含層ともなっている。また13層には埴輪や須恵器などSX01の遺物と接合関係にある遺物が多く含まれていた。

(2) 遺構の配置

Ⅰ区南部、Ⅱ区北西部、南東部と大きな擾乱が3カ所あり、調査面積の1/3ほどを占めている。また調査区中央から東側にかけては、存続時期の異なるSR01、SR02という2つの自然流路が南北に貫いており、Ⅲ区においては幅が広がっている。遺構はⅡ区の自然流路の西側にSX01が、SR01の埋没した上にSK01が構築されている程度と少ない(第3図)。

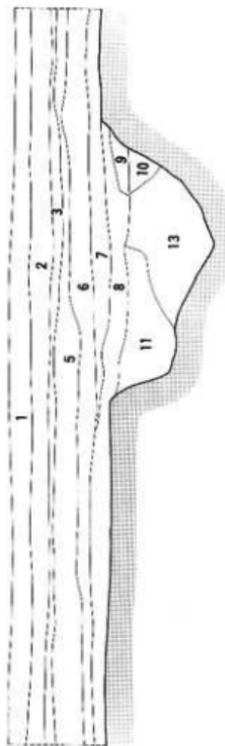
(3) 遺構と遺物

①SX01

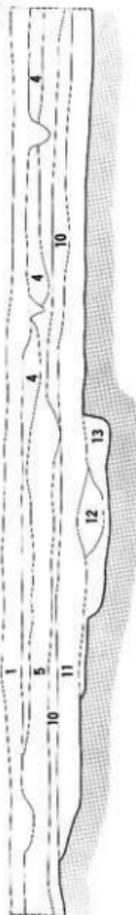
本遺構は、南辺と西辺のほとんどが調査区外にあり、また東辺は擾乱によって切られているため、本来の形状や大きさは不明である。しかし南辺においては一部本来の落ちが確認されている。

南約4.8m、北辺残存長約8.4m、深さ約20cmで、本来はベルト状に東西に広がる遺構であったと推定される。底面は北から南へ緩やかに下る斜面となっている。遺構内には黄褐色砂質土(2、3層)や黄灰色粘質土(1層)の堆積がみられた。遺物は1、3層に多く含まれていた。2層は本遺構の南部にみられ、また遺物も少ないこと、さらに本遺構の遺物と東側に位置する自然流路中から出土した遺物の多くが接合関係にあることなどから考えて、自然流路の氾濫による堆積土とみられる(第4図)。

L=8.80m



L=7.10m

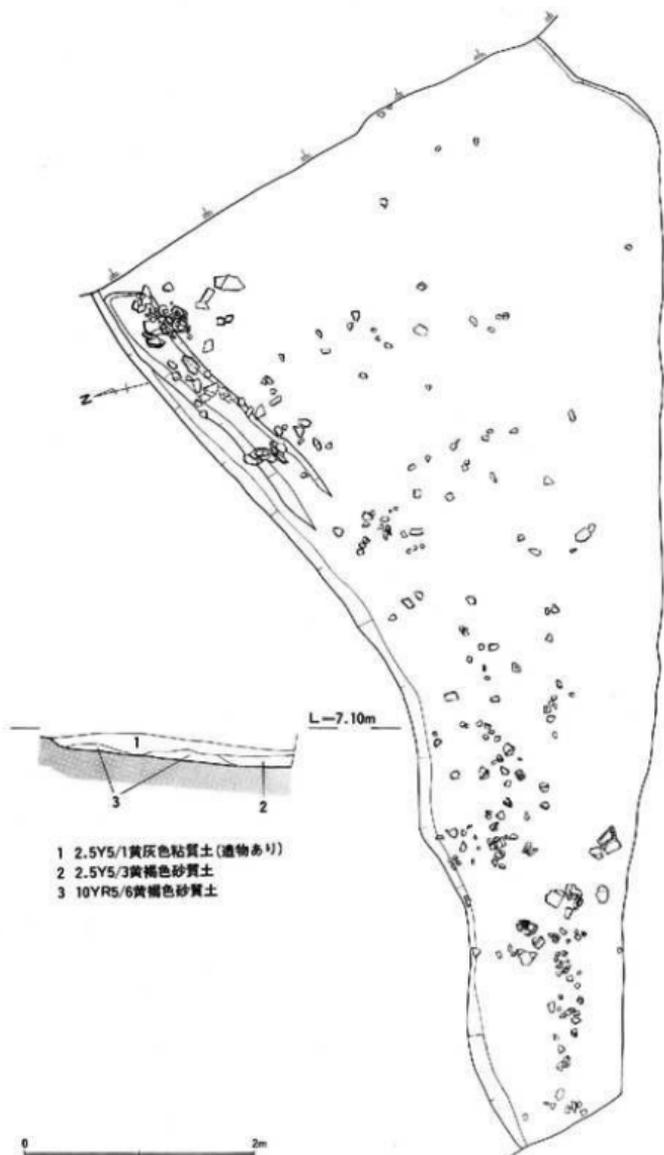


- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 1 黄 土 | 8 2.5Y5/1黄褐色砂质土 |
| 2 2.5Y8/2灰白色砂质土 | 9 10YR5/1褐灰色砂质土 |
| 3 2.5Y6.8明黄褐色砂质土 | 10 10YR4/1褐灰色砂质土 |
| 4 5Y5/1灰白色砂质土 | 11 10YR5/2灰黄褐色砂质土 (SR01:埋土及心中世埋物包含層) |
| 5 2.5Y7/1灰白色砂质土 | 12 10YR5/6黄褐色砂质土 |
| 6 2.5Y6/1黄灰色砂质土 | 13 10YR4/1褐灰色砂质土 (SR02:埋土) |
| 7 10YR7/6明黄褐色砂质土 | |

第 2 図 蓮華池遺跡 (I) 土層堆積状況 (1/50)



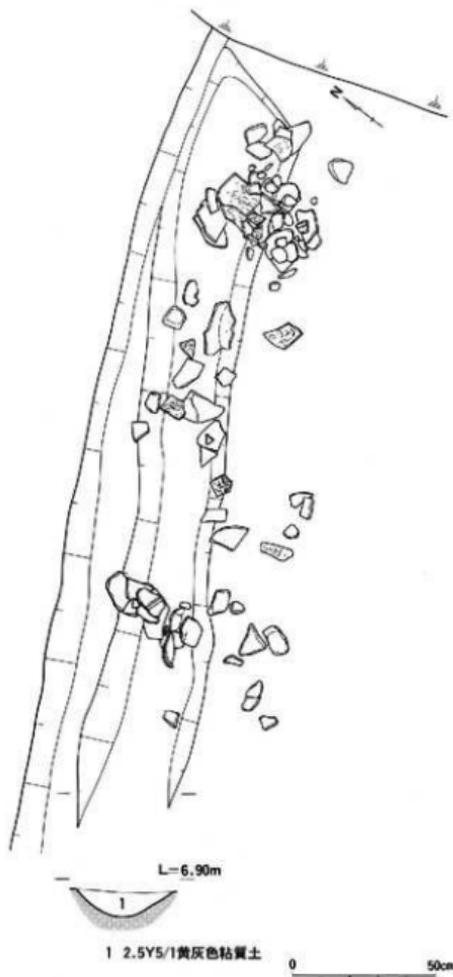
第3図 蓮華池遺跡(Ⅰ)遺構配置図



第4図 SX01実測図

北辺東側には、長さ約2.7m、幅約30~40cm、深さ10cm程度の直線状に延びU字型の断面を有する溝が掘削されており、溝内にも黄灰色粘質土（1層）が堆積していた（第5図）。

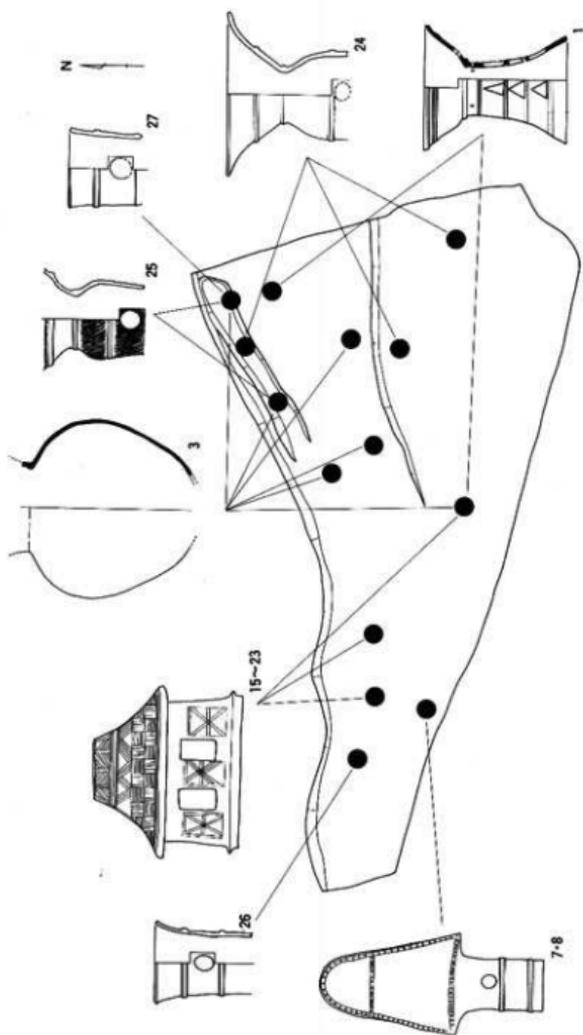
遺物は、家形、盾形などの形象埴輪、朝顔形埴輪や円筒埴輪、器台、甕などの須恵器等が多数検出された（第4~6図）。そのほとんどが北半より出土しており、中でも特に集中していたのは西側と溝周辺であった。第6図は主な遺物の出土地点である。須恵器は溝周辺が中心で、器台は北辺溝の南側と遺構中央付近より出土し、甕は北辺溝内を中心に、遺構の中央付近からも出土した。形象埴輪は盾形、家形ともに遺構西側に多くみられた。円筒埴輪は朝顔形埴輪が北辺溝付近に集中して出土したほか、西側でもまとまって出土した。その他、復元はできなかったが、円筒埴輪の破片がほぼ全面に散らばって数多く出土している。この出土地点の分布から、遺物はほぼ全面に並べられていたとみられるが、SR02の泥濘等によるとみられる流失によって南側には遺物が少ない。それは本遺構出土の遺物と接合関係にある遺物がSR02中から多く出土していることから裏付けられる。



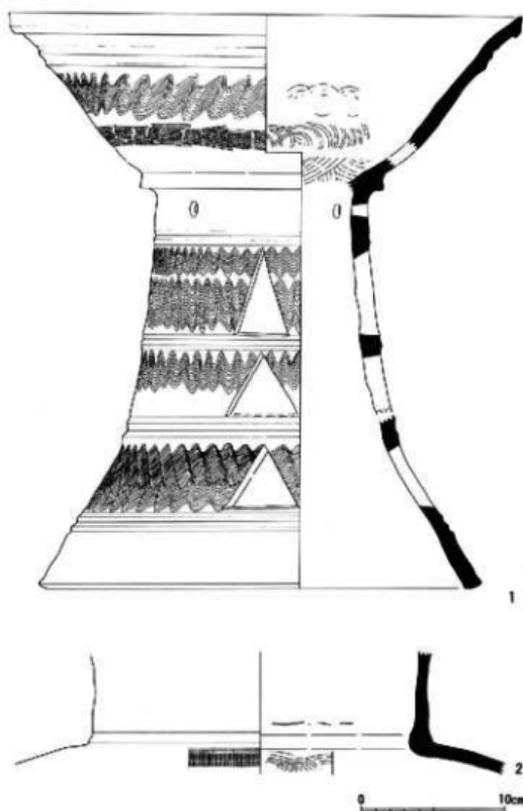
第5図 SX01内溝実測図

古墳時代の遺物

須恵器、形象埴輪、円筒埴輪がある。いずれも破片の残存状況はよく、調整が明瞭なもの



第6圖 SX01主要遺物出土地底圖



第7図 須恵器(1)

も多い(第7~20図)。

須恵器には、器台(1)、甕(2・3・6)、杯身(4)、壺(5)がある。器台は、鉢部外面中位に波状文、下半に格子タタキを施し、底部内面には同心円タタキが施されている。また脚基部には断面三角形の突帯が巡る。脚部はナデによる凹線によって5段に分割され、第2段には2段、3、4段には各1段ずつ波状文が施されている。また第1段には円形の穿孔が4方に、第2段~4段には波状文と三角形の透かし孔が4方に施されている。甕には口縁部が直立気味に立ち上がるもの(2)と外上方へのびるもの(3・6)の2種があり、いずれも口縁部付近はナデによる調整が、体部外面には縦格子タタキのち回転カキメが、内面に